

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 漁 撈	(ふりがな) ぎよろう	
地域独特の呼び方	魚捕り	さかなとり	
タイトル	漁 撈		
伝承地域	只見町		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 山深い只見の人々にとって、川魚は食生活と一体となっていた。 昭和 30 年代の只見川のダム建設により只見川の漁業は大きく変貌した。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 只見川や伊南川などには、多くのイワナやヤマメ、サケ・マスなどの魚類が生息していた。住民は、古くから様々な方法で魚を捕らえ川の恵みを受けて暮らしてきた。昭和初期のダムのなかった頃には、奥会津ではマスの共同漁撈が行われていた。 只見町田子倉や石伏では「マス捕りの口あけ」という解禁日を設け、秋の彼岸の頃から 11 月にかけて漁をした。この共同漁撈を「まわり川制度」と呼び、上・中・下と村に 3 ヶ所の漁場を設けて日ごとにそれぞれの組でマスを捕る場所を変え、漁獲物は各戸に公平に分配した。 川魚をご飯とともに半年以上スシ桶につけ発酵させたのが、只見町の伝統的食文化のイズシ (飯鮓) である。		
文化財等の指定状況	平成 15 年度 国指定重要有形民俗文化財 (会津只見の生産用具と仕事着コレクション)		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話	0 2 4 1 - 8 2 - 5 3 2 0

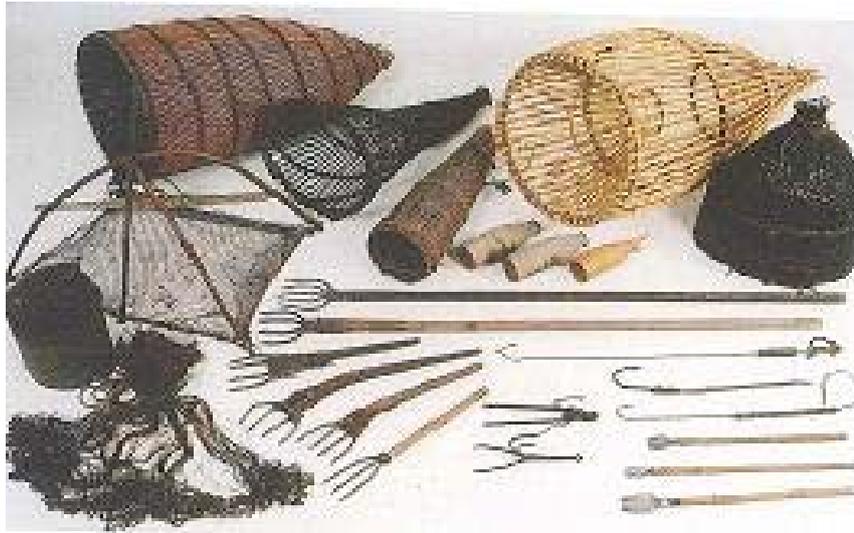
【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵
	性別・年齢	男 ・ 女	歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話		
団体	職業			
	団体名 (ふりがな)		
	代表者氏名 (ふりがな)		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先	電話		

【フリーフォーマット】

キーワード

<漁撈の用具>



(只見町教育委員会)

<只見町伝統的食文化のスシ>



(只見町 新国 勇氏)